

6/18

民生委員 大家 隆さん
藍綬褒章を受章されました

新大和区・大東区の民生委員・児童委員の大家 隆おおいえ たかしさんが令和7年春の藍綬褒章を受章しました。大家さんは30年にわたり、地域住民のため、献身的に活動されてきました。「40歳で民生委員・児童委員になり振り返ると、いろんなことがあった。高齢者の対応や、世話をした人の葬儀も行きました。これも何かの縁。これからも地域のために、できる限りのことを続けていきたい」と大家さんは力強く語りました。



6/26

きれいで住みよいまちを目指して
～環境美化功労者等表彰式～

ボランティアで市内の環境美化などの活動に尽力した人を称える「環境美化功労者表彰」の表彰式を行いました。団体の部では、日頃から花植えや草取りをしている八幡地区協議会とひだまり花壇、個人の部では、交通を妨げる木の伐採や枯葉の処理、雑草の除去など、日々環境美化に努めた井口 正博いぐち まさひろさんを表彰しました。この賞は、これまでに団体の部150団体、個人の部227人の人を表彰しました。



6/25

野鳥の会 熊本県支部の安尾さん
くまもと環境賞地域貢献賞受賞

野鳥の会熊本県支部の安尾 征三やすお せいざぶろうさんが、くまもと環境賞地域貢献賞を受賞しました。2012年のラムサール条約登録に向けた活動で中心的役割を果たし、「荒尾干潟水鳥・湿地センター」建設につながる提言をするなど、長年の荒尾干潟の環境保全に関わる活動が認められました。浅田市長が祝意と感謝の言葉を伝えると「自分の活動が3代の市長に感謝の言葉をいただけるとは思いませんでした」と喜びました。



7/9

企業版ふるさと納税寄附金
贈呈式を開催しました

大牟田市に本社がある(有)限部建設より、企業版ふるさと納税の寄附がありました。同社を代表して隈部 慶介くまべ けいすけ専務取締役が「生活圈や商圈が同じである荒尾市のまちづくりに貢献したいと思い寄附をさせていただいた」と話すと、浅田市長は「あらお海陽スマートタウンが多くの人にとって住みよい街となるように事業に活用させていただきたい」と感謝状を贈りました。



7/2

新しい地域おこし協力隊が着任
委嘱状交付式を行いました

地域おこし協力隊に着任した宇梶 高博うかじ たかひろさんに、石川 副市長が「応援が増えるよう活動してほしい」と委嘱状を手渡しました。宇梶さんは「新しい視点で市の魅力を再発見し、多くの人に“あらおちゃん”を知ってもらいたい」と述べました。宇梶さんの活動は公式メディア「ぎゃんすき! あらおちゃん」で発信していきます。



6/25

今年もおいしいお茶ができました
府本小児童が市長に新茶を贈呈

府本小の5年生を代表し、木下 慈音きのした じのんさん(写真右)と西田 奏にしだ かなでさん(写真左)が「今年も5kgのお茶が収穫できました」と、校内の茶畑で摘んだ新茶を浅田市長に届けました。府本小では、府本地区協議会はじめ地元のみなさんの協力を得ながら、「本物体験」を実践し、小代焼・野菜づくりなどにも挑戦しています。



6/25

田植歌と鈴の音が響く
野原八幡宮「御田植祭」

野原八幡宮の境内にある神田で、五穀豊穰を祈願する伝統行事「御田植祭」が行われました。この荒尾の風物詩を見ようと多くの人々が集まりました。強い日差しを浴びながら、15人の早乙女と9人の田男が、一列に並び、祈りを込めて田植えをしました。有明高校3年生、八幡小5年生も参加し、一生懸命田植えをしました。とても蒸し暑い日でしたが、田植え後には、さわやかな笑顔があふれていました。



6/24

企業版ふるさと納税寄附金
贈呈式を開催しました

長崎市に本社がある総合電機(株)より、企業版ふるさと納税の寄附がありました。同社を代表して佐藤 淳一さとう じゅんいち代表取締役が「再生エネルギーに関わる事業を行う会社として、脱炭素の取組を推進する荒尾市のまちづくりに応援したい」と話すと、浅田市長は「石炭で栄えたまちだが、かつてとは違う、新たなにぎわいを創出するまちづくりのために活用させていただきたい」と感謝状を贈りました。

